

**町田市第二次野津田公園整備基本計画
懇談会のまとめ**

2014年3月

町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会

目 次

1. 町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会について.....	1
1) 町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会の目的	1
2) 懇談会の位置づけ	1
2. 懇談会での意見のまとめ.....	1
1) 懇談会意見（主なもの）	2
2) 計画策定に向けた課題と公園づくりの目標.....	4
参考資料	4
1) 町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会設置要綱.....	5
2) 懇談会委員名簿	6
3) 懇談会の開催経緯.....	6

1. 町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会について

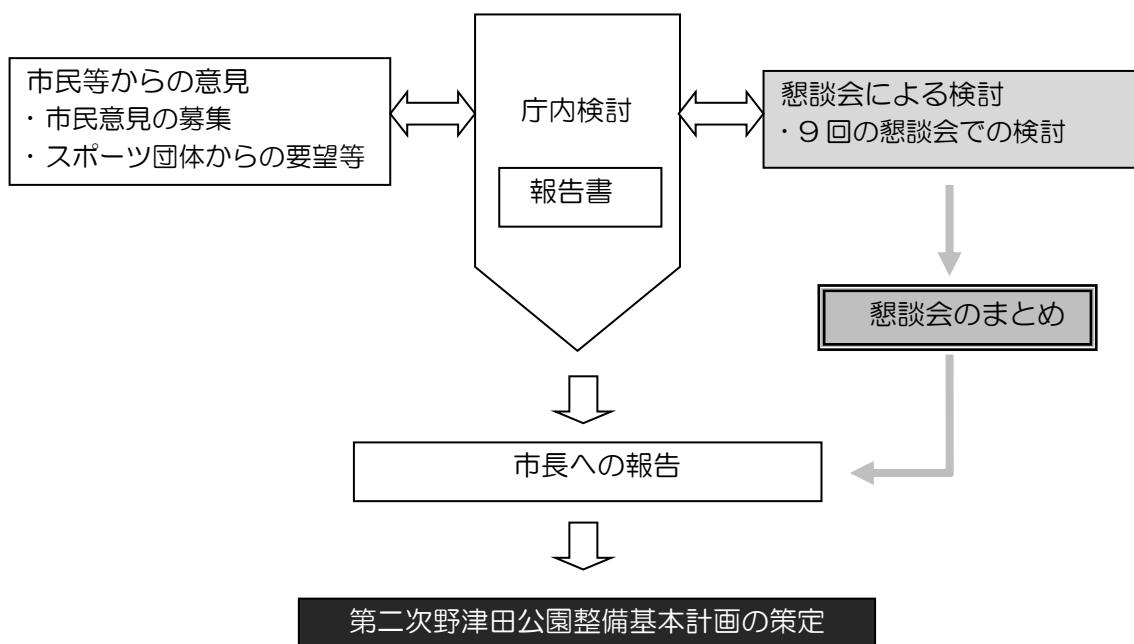
1) 町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会の目的

町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会（以下、懇談会、と記す）は、「町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会設置要綱」に基づいて設置され、次の内容について調査・検討を行い、その結果を市長に報告するとともに第二次野津田公園整備基本計画策定への提言をすることを目的とする。

- (1) 公園施設の整備に関すること
- (2) 野津田公園に来園する者に係る交通の利便性に関すること
- (3) 野津田公園の自然環境に関すること
- (4) 災害が発生した場合における野津田公園の役割に関すること
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項。

2) 懇談会の位置づけ

第二次野津田公園整備基本計画（以下、基本計画、と記す）を策定するにあたり、市民・専門家等からの意見等を参考に計画を策定することが重要であるため、町田市は懇談会を設置した。



2. 懇談会での意見のまとめ

町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会では、全9回の開催の中で計画に関する多岐にわたる議論を重ね、様々な意見を提言してきた。懇談会での意見として主なものをまとめると以下のとおりである。

1) 懇談会意見（主なもの）

(1) 自然環境の保全・活用

- 自然をこのまま残すべきである。
- 野津田公園の特徴である地形の活かし方や修景を考える必要がある。
- バラ園の魅力を高めるなど公園としての魅力を高める検討が必要である。
- バラ園は、現状のまま保全して移設はしない方がよい。
- 公園として整備された自然があってもよい。
- 何も施設がないところで遊ぶことに意義がある。
- (仮)野津田自然館は、維持管理費のことも考慮すると不要ではないか。

(2) スポーツ活動

- スポーツとしては、気楽にできるスポーツ（ロッククライミングや綱引きなど）楽しみながら体を鍛えられる施設があるとよい。
- レクリエーションスポーツを楽しめるように用具等の貸出施設があるとよい。
- プロサッカーチームは、競技スポーツゾーンで活動すると同時に、上の原グラウンドでサッカー教室を行うとよい。
- 公園や街中でボール投げやボール蹴りが出来ないのも、そうしたことが出来る場所の確保すること、さらに怪我対策などマネジメントも検討して欲しい。
- フィールドアスレチックなどは安全性の担保ができなければ設置すべきでない。
- 障がい者のためのスポーツ教室や、ウォーキングの介護やタイムトライアルなどの利用も考えてよい。
- 公園施設の整備では、安全性を確保することが第一要件である。

(3) 観光・レクリエーション

- 公園には、利用者が集い、飲食や語り、交流などのレクリエーション活動が楽しめる場の整備も必要である。
- 有名レストランなどが出店したくなるような公園にする。
- 小野路屋敷を再生したようなオーガニックカフェがあっても良い。
- トレイルランは、入門的な体験ができる程度であればよいが、現状の地形（起伏）からすると本格的なものとしては相応しくない。

- ふれあい動物園は、既存のリス園で市民サービスは満たしているため不要である。

(4) 防災・避難

- 避難場所等として、学校以外の空気を担保する上で野津田公園の役割は大きい。
- 緊急輸送路、啓開道路からの物資ルートと避難ルートの検討が必要である。

(5) 交通・アクセス

- 集客を高めるには駐車場が必要かもしれないが、里山保全活動のために多少の「不便性」はあってよい。
- 車椅子利用には不便性があるが、園路は木チップ舗装や柔らかい土が良い。
- 園路などは、車椅子利用に配慮して、最低でもアスファルトやコンクリート舗装にする必要がある。
- 「上の原」の自然は、守るべきである。(駐車場にすべきでない)
- 野津田町では違法駐車が増えており、周辺地域への配慮として公園内に駐車場が必要である。
- 歩行支援のための器具の貸出や移動手段のためのサービスがあると良い。
- 野津田公園の主要駅との立地特性から公共交通機関を有効な交通手段と考えるとよい。

(6) マネジメント

- 官民協働の運営について、市民、ボランティア、NPO 法人と連携し継続していくためのシステムを検討することが必要である。
- 里山を守るために里山を知ってもらうことが重要であり、ボランティアと市が共存できるシステムや定期的にイベント行い里山を知ってもらうプログラムが必要である。
- 古民家の再生や地域の農産物（地産地消）など地域の資源を活かし、公園を含めた地域の魅力アップを図る必要がある。
- 高齢者が参加できるような健康体操教室などのプログラムがあると良い。
- 積極的にゼルビアとの関わりや交流するためのプログラムを導入するとよい。
- 自然や里山を活かしたプログラムの導入が期待され、障がい者等に配慮したプログラムも必要である。

2) 計画策定に向けた課題と公園づくりの目標

課題の整理

① 自然環境の保全・活用

- 現況スポーツ施設の整備箇所と自然環境との区分の見直し
- 継続的な管理による自然景観の保全策を踏まえた整備と管理の検討
- 現況の自然環境と目標とする植生区分の検討

② スポーツ活動

- 競技スポーツから健康スポーツまでスポーツ活動の拠点としての活用方法の検討
- 誰でも気楽に楽しめるスポーツができる施設等、スポーツ団体、市民要望に基づく導入施設の検討
- 地域貢献活動を視野に入れた活動空間の設定

③ 観光・レクリエーション

- 周辺の地域資源との連携を踏まえた公園の施設と動線の設定
- 利用者が集い飲食や語らいを楽しむ交流の場の創出
- レストランなど施設が出店したくなるような魅力づくり
- 施設整備に伴う安全性の確保

④ 防災・避難

- 防災拠点としてのオープンスペースの確保
- 緊急輸送路、啓開道路から物資ルートと避難ルートの設定

⑤ 交通・アクセス

- 公園へのアクセス方法の検討
- 来園者（障がい者等）が利用可能な公園内のレクリエーション動線、バリアフリー動線の設定
- 利用者の利便性を考慮した駐車場計画

⑥ マネジメント

- ボランティア団体（活動への参加者）の拡充、活動の多様化への支援策
- ボランティアへの参加者を増やすための情報発信機能の検討
- 経費縮減の視点と合わせた古民家の再生
- 官民で連携し、協働運営体制を継続するための仕組みやPDCAサイクルによる管理運営の仕組みづくり
- 運営協議会の機能や役割の明確化

目標の設定

自然や農とのふれあい活動が楽しめる公園づくり

競技スポーツから健康スポーツまで幅広い活動が楽しめる公園づくり

多様なレクリエーション活動が楽しめ、交流が広がる公園づくり

大規模災害発生時の住民避難や救援活動の拠点機能を備えた公園づくり

交通の利便性とバリアフリーに対応した公園づくり

質の高いサービスで市民の幸せに貢献する公園づくり

参考資料

1) 町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会設置要綱

第1 設置

野津田公園の整備に関する基本計画（以下「第二次野津田公園整備基本計画」という）の策定に資するため、町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会（以下「懇談会」という）を置く。

第2 所掌事務

懇談会は、次に掲げる事項について調査、検討し、その結果を市長に報告する。

- (1) 公園施設の整備に関すること。
- (2) 野津田公園に来園する者に係る交通の利便性に関すること。
- (3) 野津田公園の自然環境に関すること。
- (4) 災害が発生した場合における野津田公園の役割に関すること
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項。

第3 組織

- 1 懇談会は、委員7人以内をもって組織する。
- 2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。
 - (1) 学識経験を有する者 3人以内
 - (2) 町田市町内会・自治会連合会の代表 2人以内
 - (3) 公募による市民 2人以内

第4 委員の任期

委員の任期は、懇談会が第2の規定による報告をしたときまでとする。

第5 会長

- 1 懇談会に会長を置き、委員の互選により定める。
- 2 会長は、懇談会を代表し、会務を総理する。
- 3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

第6 会議

- 1 懇談会は、必要に応じて会長が招集する。
- 2 会長は、必要があると認めるときは、懇談会に委員以外の者の出席を求めることができる。

第7 庶務

懇談会の庶務は、都市づくり部公園緑地課において処理する。

第8 委任

この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、会長が懇談会に諮って定める。

附則

- 1 この要綱は、2013年2月1日から施行する。
- 2 この要綱は、2014年3月31日限り、その効力を失う。

2) 懇談会委員名簿

番号	区分	氏名	所属等
1	学識経験者	金子忠一	東京農業大学地域環境学部 教授
2		中川義英	早稲田大学理工学術院 教授
3		三ツ谷洋子	法政大学スポーツ健康学部 教授
4	町田市民	河井誠	野津田町内会
5		太田真由美	小野路町内会
6		大野友美	公募
7		奥村憲雄	公募

3) 懇談会の開催経緯

	開催日程	場所	検討テーマ
第一回懇談会	2013年2月18日	町田市役所2階 2-2会議室	懇談会の設置・現地見学・概要、 経緯等の説明
第二回懇談会	2013年3月28日	町田市役所2階 2-2会議室	基本計画に関わる課題の検討
第三回懇談会	2013年5月21日	町田市役所10階 10-2会議室	自然環境の保全活用・スポーツ活 動・観光、レクリエーションに関 わる検討
第四回懇談会	2013年7月1日	町田市役所10階 10-2会議室	防災、避難・交通・アクセスに関 する検討
第五回懇談会	2013年8月22日	町田市役所10階 10-4会議室	マネジメント・空間構成（ゾーニ ング）に関する検討
第六回懇談会	2013年10月3日	町田市役所2階 2-1会議室	基本計画図素案の検討、自然環境 調査の結果報告
第七回懇談会	2013年11月21日	町田市役所5階 5-3会議室	基本計画図等の検討、市民意見の 報告
第八回懇談会	2014年2月24日	町田市役所10階 10-2会議室	懇談会のまとめの確認
第九回懇談会	2014年3月10日	町田市役所2階 市民協働 おうえんルーム	懇談会のまとめの確認